

DENON
PROFESSIONAL

DN-108LF

ユーザー・ガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります（聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください）。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] http://inmusicbrands.jp/denon_pro/

DENON
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

inMusic Japan株式会社

カスタマー・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザ・ガイド

はじめに

「DENON Professional DN-108LF」天井埋め込み用サブウーファーは、正確で明瞭なサウンドを提供し、耐火性も持ち合わせ、商業施設でのマルチユニットの設置に適しています。

堅牢な金属製の筐体を持つこのエンクロージャーは、サブウーファーの背後に防火障壁を設け、商用の消防条例に適合し、ベースチューニングと低周波数特性を最適化するエンクロージャーとしても機能します。サブウーファーには、インピーダンスとレベルマッチングに関係なく、複数のユニットを容易に設置可能な 70/100V のトランスが搭載されています。

DN-108LF は、正確で強力な低域再生のために高偏位 8 インチ (203 mm) 非プレス紙のコーンウーファーを使用しています。

精密でクリーンなパッシブクロスオーバーによりチューニングされたリフレクション・エンクロージャーのドライブユニットが、どんな音楽でも、最適でクリーンなサウンドを届けるこれらのハイクオリティユニットは、公共施設、ビジネス、教育施設、商業施設での需要などの必要に応じ、すべての安全、消防条例を満たしています。

スピーカーのエイジング

スピーカーは、最大音量で安全な操作を続けるためにエイジング時間が必要です。適切なエイジングにより、スピーカーの動く部分（コーンとコーンサスペンション）がたわみ、柔らかくなり、当初の剛性を緩め、完全に意図された範囲内で動作するようになります。適度なエイジングの後、スピーカーはより豊かな口、より滑らかな響きのミッド、よりクリーンなハイを生み出します。

スピーカーに適度なエイジングの良い方法は、適度な音量で通常の音楽を再生することです。スピーカーのエイジングに必要な時間は、動作環境によって異なりますが、50～80 時間が目安です。寒くて乾燥した環境では、やや時間が多くかかり、暖かく湿った環境では、少なめの時間で済みます。

注：エイジングは連続した時間が必要ではありません。

スピーカーのエイジング

接続する前に接続場所を検討し、必要なすべての材料をまとめておき、接続作業は一度に行うことが最善です。

まず、アンプ、またはレシーバーの背面を確認し、接続するためのオプションを確認してください。アンプとレシーバーは、通常 5 ウェイ・バインディングポスト、スプリングロード端子、またはスピーカー接続用プッシュ端子のいずれかを使用してください。

5 ウェイ・バインディングポストは、裸のスピーカーワイヤー、スベードプラグ、ピンプラグ、バナナプラグを接続することができます。パネ式、プッシュ式は、裸のスピーカーワイヤー、またはピンプラグのどちらかを接続することが可能です。スピーカー端子を接続可能な最大のサイズ / ゲージのスピーカー・ケーブルを決めるには、アンプ、またはレシーバーのマニュアルを参照してください。

DN-108LF にはブッシュ・ターミナルが装備されており、最大で 14AWG までのピンプラグか、裸のワイヤーを接続することができます。アンプに接続可能な場合は、14AWG のスピーカーワイヤーを使用することをお勧めします。接続には、接続が容易で、接続をショートさせる可能性が低いピンプラグの使用をお勧めします。ほとんどのケースで、より思いゲージのスピーカーワイヤーを使用することができ、色分けされたプラグによりマーキングにより極性を識別することが容易になります。

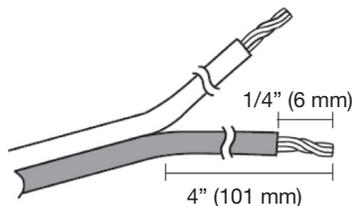
スピーカーワイヤーは、壁 / 天井を通るので、内壁内には消防条例に適したワイヤーを使用する必要があります。これにより、ワイヤージャケットが火災発生時に触媒とならないようにします。

固定長のスピーカーワイヤーではなく、ロールを購入し必要な長さにワイヤーを切断して使用することが最善です。これによりワイヤーを最短にすることができます。ただし、アンプが中心から離れた位置に設置されていても各スピーカーペアに使用するワイヤーの長さは同じである必要があります。余分な長さのワイヤーは、前後に蛇行させ、巻かずに設置してください。

実際の接続を行う前に、ワイヤーをそれぞれ必要な長さに合わせ切断し、各胴体を区別するためのマーキングを行ってください。マーキングは、プラス (+) とマイナス (-) の識別のために使用することがあります。一般的なプラスとマイナスのマーキングが以下の通りです。

プラス	マイナス
赤	黒
銅	銀
+++	---

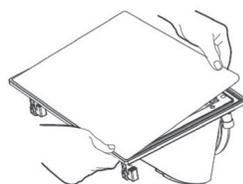
スピーカーワイヤーの準備ができれば、最初に約 10cm 分ワイヤーを分離させ、次に端から 5mm 程度絶縁材を剥がし、ワイヤーがほどけることを防ぐためにワイヤーをねじってください。バナナ、またはピンプラグを使用する予定の場合、プラグをワイヤーに取り付けてください（プラグの使用を推奨します）。



グリル、フレームの塗装

グリルやフレームは、壁や天井に合うように塗装することができます。スピーカーを目立たないようにすることができます。スピーカーを傷つけずに安全に塗装するには、以下の手順で行ってください。

- 1 エッジを持ち上げてスピーカー本体からグリルを引き出して、完全に取り外してください。
- 2 グリル背面のフェルトマットを取り外してください。
- 3 スピーカーグリルの塗装を行ってください。グリルの穴に塗料が詰まらないには、スプレー塗料の使用をお勧めします。
- 4 塗料を乾燥させてください。その後、フェルトマットをグリル背面に取り付けてください。
- 5 スピーカーの設置を行う前に、グリルの穴が塗料で塞がれていないことを確認してください。



パッケージの内容物

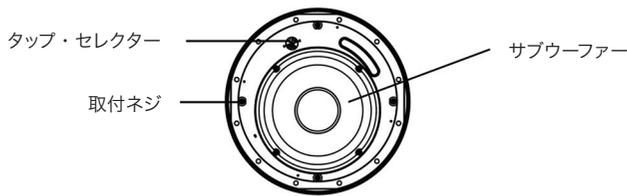
- ・ DN-108LF 本体
- ・ 設置テンプレート
- ・ 取付ブラケット
- ・ サブウーファー・グリル
- ・ (4) ネジ
- ・ (4) ワッシャー
- ・ 4-ピン ユーロブロック・コネクター
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

サポート

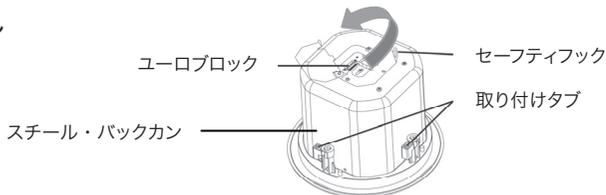
最新のシステム必要条件、互換性情報については、Denon Professional ウェブサイトを参照してください。 : http://inmusicbrands.jp/denon_pro/

サブウーファー・ダイアグラム

トップパネル



リアパネル



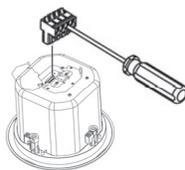
スピーカーの設置

安全にスピーカーを設置するために、以下の手順を慎重に行ってください。 :

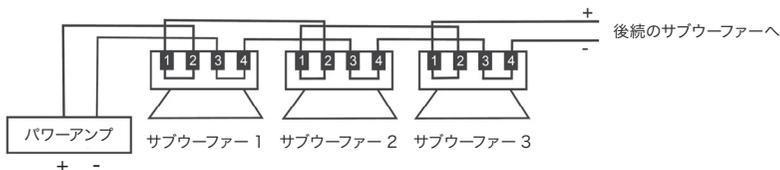
- 1 サブウーファー取り付けブラケット（下図参照）を組み立て、アライメントビームの1本をC型サブウーファー取り付けブラケットの溝の下に貼り付けてください。必要な設置場所に置き、2本のネジと2つのワッシャーを使用して固定してください。穴が均等に並んでいることを確認しながら、反対側にも同じ手順を行ってください。



- 天井スペースの障害物に気をつけながらサブウーファーの取り付け位置を決定してください。天井の下面から 222mm のクリアランスが必要です。取り付け穴の直径は 273mm です。
- 天井スペースを外し、C 型のサブウーファー取付ブラケットが、カットした穴にフィットするようにサブウーファー取付ブラケットを取り付けてください。スナップフック（別売）を備えた金属製のセーフティワイヤーを使用して片側のトラス / ビーム周辺に回してください。セーフティワイヤーがかけられているトラス / ビームにサブウーファー取付ブラケットを固定し、セーフティワイヤーをネジで取り付けてください。ネジがネジ穴の表面より下がっていることを確認してください。
- 付属の 4 ピン・ユーロブロックをサブウーファーから取り外し、サブウーファー・ケーブルに接続してください（下記参照）。



- 付属のループスルー端子を使用してください（下図参照）。この配線方法を使用する場合、サブウーファーが接続されていない場合は、後続のサブウーファーへの経路が無いことに注意してください。代替方法として、着信、発信ケーブルをパラレルで配線する方法があります。ピン 2 は + でピン 3 は - です。

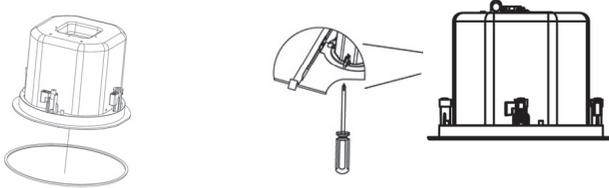


- 正しい極性が使用されていることを確認して、ユーロブロック・コネクタを差し込んでください。
- サブウーファーを C 型サブウーファー取付ブラケットに差し込んでください。サブウーファーの背面にあるセーフティフックにスナップフックを接続してください。サブウーファーが天井にぴったりと合い、黒い磁気縁のみが露出するようになったら、取付タブに接続されている 4 つの取付けネジを締めてください（下図参照）。ネジを時計回りに回すとネジは自動的に回転します。ネジを締めすぎないように気をつけて、4 つすべてのタブすべてに同じ手順を繰り返してください。

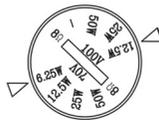


注：サブウーファーを天井に設置する前に、すてへの取り付けネジが完全に反時計回りに回転していることを確認し、マウントタブがスチール・バックカンの側面に触れるようにしてください。

注：取付タブが、C型サブウーファー取付ブラケットの開口部より上にならないようにサブウーファーを取り付けてください。



- 8 フラットヘッド (-) ドライバーを使用して、タップセレクターを回転させ、正しい電源設定が矢印の隣に来るようにしてください。使用されているライン電圧に応じて 70V、または 100V スケールが別々に用意されています（下図参照）。トランスは 8Ω の位置を選択することによってバイパスすることも可能です。調整が必要な場合、電源が完全にセットされるまで、グリルをオフのままにしておくことが最善の方法と言えます。



- 9 サブウーファーにマグネティック・グリルを取り付けてください。

付録

技術仕様

システム仕様

- ドライバー直径：8.25" (210mm)
- ボイスコイル：35mm
- 再生周波数帯域：53 - 2.3kHz
- 最大許容入力：80W (160W ピーク)
- 平均出力音圧レベル：89dB (1W/1m)
- スピーカー接続：4-pin ユーロブロック
- 法令準拠：EN 54-24

電源トランス

- 70V：50、25、12.5、6.25W
- 100V：50、25、12.5W
- バイパス：8Ω

物理的仕様

- グリル素材：スチール
- ベゼル直径寸法：273mm
- 取り付け寸法：222mm
- 重量：6.3kg

商標およびライセンス

Denon は、D&M Holdings Inc. による米国とその他の国における登録商標です。

その他の製品名や会社名は、それぞれの所有者の商標や登録商標です。

DENON
PROFESSIONAL

inmusicbrands.jp/denon_pro

Manual Version 1.1